

やいちのこ



未来に生きる児童の育成

学校教育目標

「生きる力」を育み、

2月号
文責：杉田

今までにない感染拡大への不安の中で、冬五輪の選手たちの姿には、感動や勇気ももらいました。この半年程度の期間に世界的スポーツイベントが二度も開催されるとは、不思議な感覚ではありませんが、つい負けてしまいそうな弱気な心を奮い立たせてくれる瞬間でもありました。

あの五輪の舞台に立つ選手たちは、どれほどの努力をどれだけの間継続してきたのだろう。「もう無理だ」と諦めてしまおう心、どのように奮起させてきたのだろう。画面の向こうの競技場に立つ姿に「YELL」をおくり、計り知れない努力をみなが賞賛していたことでしょうか。幼い頃から必死に練習を続け、どんな時も一生懸命に競技し、常に周囲を思いやれる、そして世界中から慕われている選手。「報われない努力もあるんだと知った」との彼の一言に、やりきれなさとその言葉の重さを感じました。

私たち大人は、子供たちに「夢と希望をもちなさい」「継続は力なり、諦めずに最後まで頑張りなさい」「努力は絶対に裏切りません」などと励ましながら育てます。人生には報われないことも、裏切られてしまうと感じることもたくさんあります。地球規模でのコロナ蔓延、人間にはどうすることもできない大規模自然災害、未だに消えない戦争。このような現実の中で、私たちは生きていきますし、子供たちは成長していきます。その生きるパワーを持つために、夢や希望というエネルギーが必要なのだと思います。

人と人の繋がりを再構築

自身の未来の姿をしつかりと描き、そんな明日の自分になるために、今日を、この瞬間を一生懸命生きる。諦めても何も変わらないし、何も生み出すことはできない。一人だつて弱気になってしまう。だから、同じような未来を描ける仲間、一緒に努力していこうと頑張れる繋がりが必要なのだと考えます。

コロナで人と人の繋がりが危うくなっています。そんな今だからこそ、その繋がりを再構築していかなければと思えます。あの晴れ舞台に立つ五輪選手でも、「やめてしまいたい」とうつぶす瞬間を経験しています。それを乗り越えてきた努力の継続があったからこそ、競技後の素直な笑顔や涙があるのでしよう。私たちは、度合いには違いがあるにせよ、一生懸命に努力している姿には必ず気づきます。自ずとその生き方や頑張りを受け、応援します。私たち人間だからこそ、そのような繋がりが持てるのです。一試合一試合、一喜一憂し泣いたり笑ったりを分かち合っていた選手たちがいます。その素直なチームワーク（繋がりに感動し、私たちに笑顔をもたらすことができた）。

コロナ対策では、本県も「新山梨方式」と表して新たな対応策が出されました。学校現場は、よりきめ細かな対応が必要となります。保護者の皆様そして子供たちには協力していただかなければならない場面も増えます。必ず訪れるであろう「春」を信じて、谷一の「繋がりに」笑顔の明日にしていきましょう。

「新山梨方式」の導入へ向けて

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、本県は「新山梨方式」と称して、新たな取り組みを実施することとなりました。陽性者・濃厚接触者が判明した集団は、2日前からの行動記録を提出し、保健所の判断の下、集団全員のPCR検査を実施するものです。結果が出されるまでは、その集団は自宅待機となります（臨時休業）。

検査・検体提出については、本校で対応できる方法を現在模索しています。児童と保護者のみなさんの負担をできる限り軽減したいと考えます。

【現在想定している手順】

- ①家庭からの報告（濃厚接触・検査・陽性）
- ②接触集団の確認（行動記録）→保健所
- ③保健所→検査対象集団の認定
- ④検査集団保護者への緊急連絡（あんしんメール）
- ⑤検査（キット受取、検体採取、検査同意書提出）

◆検査キット配布も検体採取も全て学校にて行えるか検討中（その日のうちに検体を検査機関に提出することで、児童やご家庭の負担を最小限に抑えたい）。

⑥検査結果の報告（あんしんメール）

◆検査結果で陽性と判明した児童・ご家庭へは、保健所より連絡が入る予定

⑦検査者陰性確認→登校

※詳細は、後日文書にてお知らせします。

心配される点はいくつもあります。

- ・卒業式、入学式へ影響しない方法
 - ・中学生は、入試へ影響しない方法
 - ・陽性者、濃厚接触者の特定（人権を守る）
 - ・検査キット配布、検体受取をだれが行うのか
- この4点だけでも、大変重い問題です。どうか保護者の皆様には、「市内全ての子供たちを守る」という位置で、再々度のご理解とご協力をお願いいたします。



日	曜	行 事
1	火	第2回学校評議員会（紙面会議）
2	水	児童総会 査定会
3	木	6年生合唱指導 登校班会議①
4	金	登校班会議②
7	月	6年生午前授業
9	水	6年生に贈る Week ～10日
10	木	（中学校卒業式）
11	金	避難訓練
15	火	卒業式予行練習（6年下校 15:50） 1～5年：短縮5校時
16	水	1～5年：短縮5校時
17	木	卒業式前日準備 短縮5校時（5年 15:10 下校）
18	金	第149回卒業証書授与式



主な行事予定



日	曜	行 事
21	月	春分の日
23	水	職員会議
24	木	給食終了
25	金	令和3年度修了式 離任式 教職員辞令交付

※県の要請延長を受けて3/31まで感染防止対策を徹底します。分割少人数授業も継続しますが、今後一斉検査への対応が必要なこと、6年生については卒業式までの授業日数がわずかであることを鑑み、6年生については通常授業へ戻します。ご心配な部分がありましたらいつでもご相談ください。

◆年度末休業日 R4.3.28(月)～3.31(木)

◆年度始休業日 R4.4.1(金)～4.6(水)

※R4.4.7(木) 令和4年度谷一小入学式

R4.4.8(金) 対面式・新任式・始業式

谷一小的新たな日常～SCENE 022

～思いよ届け!“6年生に贈る Week”～

いよいよ「卒業」の二文字が飛び交う季節となりました。以前であれば、この時期の学校は「6年生に贈る会」へ向けて、5年生（次年度児童会執行部）が中心となり全校での集会行事を企画・運営します。この一年間、谷一小的のリーダーとして活躍してくれた



6年生に感謝と中学校でも頑張っていること、励みの思いを伝える会です。卒業を祝う在校生全員の思いが溢れた、大変あたたかい時間に包まれる会となります。

しかし、昨年・今年と児童全員が一堂に会して集会活動を行うことができません。「・・・ができない」ということばかりの学校生活

ですが、今できる範囲の中でも知恵と工夫で子供たちの素直な思いを繋いでいく場にしていきます。今年度、5年生が企画してくれたのは“6年生に贈る Week”です。1～5年生までが、一人一人の思いをしっかりと6年生へ伝える方法を工夫しています。

励ましや感謝のメッセージボードを作り、いつも6年生が通る場所をお花畑にする。そして、直接言葉で伝えられなければ、映像にして6年生に観てもらおう。卒業式までわずか3週間です。その間、校舎内はとてもあたたかい色で包まれることでしょう。

この会で目指すところは、人に感謝をし、他者を認め尊敬する態度を育てると同時に、5年生は次のリーダーとしての資質や能力を身に付ける。6年生は、自分たちが頑張ってきたことを認めてもらえることによる達成感が成長しようとする次の意欲へ繋がる。年度当初に6年生が掲げた合い言葉『仲間と全力疾走』テーマの「協力・努力・元気・勇気・信頼」の成果がとても楽しみです。

